

添加剤のUV劣化分析: Poropare™の吸収性を活かした湿式転写

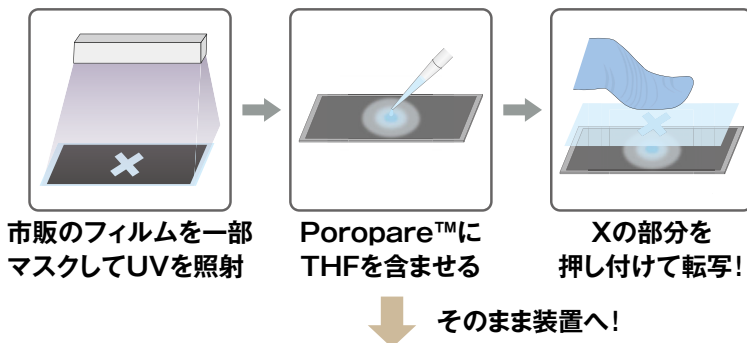
■ 測定の課題

フィルム中の添加剤劣化をイメージで評価したい。フィルムそのままでは帯電やマトリックスの馴染みの面で測定が難しく、破碎して抽出すると局在情報は失われてしまう。

■ アプローチ

Poropare™にあらかじめ添加剤を溶解する溶媒を含ませて、溶媒が乾燥する前にUVが一部照射されたサンプルを転写した。転写後は追加処理なしに測定した。

■ 測定手順



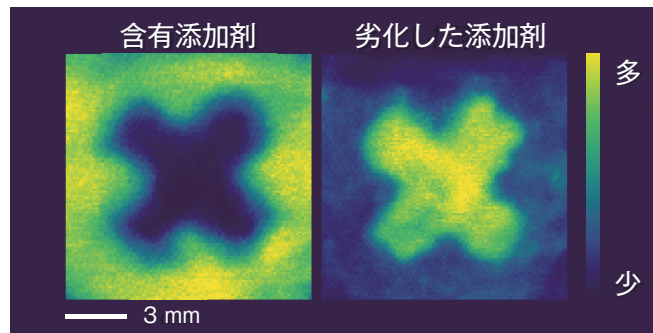
Poropare™の活用結果

• フィルム状態変化の可視化

UV光を照射した箇所(Xの形状)において、フィルム含有の添加剤が減少し、劣化後の添加剤が増加したことが可視化された。

• 湿式転写

Poropare™の吸収性を活かした湿式転写により、局在情報を維持したまま目的成分の抽出ができた。



※この資料の内容は、2025年5月現在のものです。仕様・性能は改良のため予告なく変更することがあります。

この製品について、ご意見・ご質問等ございましたら、下記までお気軽にご連絡ください。

浜松ホトニクス株式会社

WEB SITE www.hamamatsu.com

電子管事業部 〒438-0193 静岡県磐田市下神増314-5 ☎ (0539) 62-5245 ファックス (0539) 62-2205

問合せ先: 吉新 英朗 msi-t001@hpk.co.jp